

ポジティブリスト制度に係わる生乳の 「管理対象物質の定期的検査」等の実施結果について

平成 20 年 3 月
社団法人日本酪農乳業協会

酪農乳業界では、食品中に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度に対応し、定期的な残留検査を実施することとしています。本年度は平成 19 年 11 月から 12 月にかけて、下記の条件で定めた 20 物質(北海道 11 物質)について、検査を実施しました。

1. 管理対象物質の設定

今般の管理対象物質の設定に当たっては、(社)中央酪農会議が実施した農薬等の使用実態調査において、使用実績頻度の高いことが判明した農薬等のうち、通常実施している簡易迅速法で検出可能な抗菌性物質(ラクタム系抗生物質)及び現状では乳において検査手法が確立されていない物質を除いた別表の 20 物質(北海道 11 物質)を重点管理対象として「19 年度管理対象物質」としました。その内訳は以下の通りです。

わが国で流通(生産)している牛用の動物用医薬品	... 6 物質(北海道 5 物質)
自給飼料生産に適用のある農薬	... 4 物質(北海道 2 物質)
牛舎消毒薬、洗剤・殺菌剤	... 10 物質(北海道 4 物質)

2. 検体数

全国の指定生乳生産者団体の生産乳量等に応じて設定した計 82 検体で延べ 284 物質を検査しました。

指定生乳生産者団体：酪農家が生産した生乳を集荷し乳業会社へ販売する農協組織です。

3. 残留実態調査対象物質の追加物質の調査

(社)中央酪農会議が実施した農薬等の使用実態調査において、平成 17 年に設定していた残留調査対象物質以外の農薬等の使用実態が判明したことから、18 年 3 月実施の残留実態調査に準じた検査を「管理対象物質の定期的検査」と併せて実施しました。対象物質は指定生乳生産者団体毎の調査において使用実績のある物質(計 53 物質)で、検体数は各指定生乳生産者団体 1 検体です。

4. 検査結果

(1) 定期的検査

検査結果は別表1のとおりです。1検体で塩化ジデシルジメチルアンモニウム(注)が0.02ppmと基準値(一律基準値0.01ppm)を超過していました。乳業工場において製品の原料となった生乳は問題無いことが確認されており、起因酪農家と原因は特定され改善済みであります。なお、所轄行政機関には報告済みです。

この1検体以外の検体は、すべて「検出せず」という結果でした。

(注)

当該物質は畜舎等の殺菌消毒剤として広く使用されている逆性石鹼製剤です。

(2) 追加物質の検査

検査結果は別表2のとおりで、すべて「検出せず」でした。

検査物質等詳細については、別表1,2をご覧ください。

以上

生乳の「19年度管理対象物質の定期的検査」の結果について

平成20年3月
(社)日本酪農乳業協会

No.	物質	対象地域		検体数	基準値	分析法	検査結果
		都府県	北海道				
1	アトラジン		-	4	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
2	メトクロール			16	0.03	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
3	アラクロール		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
4	ニコスルフロン		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
5	ペンディメタリン			16	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
6	チフェンスルフロンメチル		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
7	グリホサート	-		4	0.1	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
8	ジクロベニル	-		4	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
9	リニューロン	-		4	0.05	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
10	ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン			16	0.2	微生物定量法	検出せず
11	カナマイシン			16	0.4	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
12	オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン		-	12	0.1	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
13	デキサメタゾン		-	12	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
14	ペルメトリン		-	12	0.1	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
15	塩化ジデシルジメチルアンモニウム		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	前記の通り
16	エトフェンプロックス			16	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
17	イソプロチオラン		-	12	0.02	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
18	フェニトロチオン			16	0.002	ガスクロマトグラフ法	検出せず
19	シロマジン			16	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
20	シフルトリン		-	12	0.04	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
21	イベルメクチン		-	12	0.01	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
22	ピリプロキシフェン		-	12	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
23	カルバリル	-		4	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
24	レバミゾール		-	12	0.3	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
計	24物質	20物質	11物質				

注) 検査機関) No. 9,11,14,20,24:(財)畜産生物科学安全研究所、前記以外:(財)日本食品分析センター

生乳の「19年度残留調査対象物質の追加物質の検査」結果について

平成20年3月
(社)日本酪農乳業協会

No.		検体数	基準値	分析法	検査結果
1	ジクワットジプロミド	5	0.01	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
2	グルホシネート	3	0.02	ガスクロマトグラフ法	検出せず
3	トリフルラリン	1	0.05	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
4	アイオキシニル	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
5	2,4-D	2	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
6	ピラゾキシフェン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
7	プレチラクロール	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
8	テブチウロン	1	0.3	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
9	トリクロピル	2	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
10	トリシクラゾール	2	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
11	シマジン(CAT)	1	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
12	MCPA	1	0.08	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
13	ジフルフェニカン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
14	インダノファン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
15	カルプロバミド	1	0.01	ガスクロマトグラフ法	検出せず
16	クロメプロップ	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
17	テニルクロール	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
18	ピリブチカルブ	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
19	プリフィニウム	5	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
20	オフロキサシン	2	不含有	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
21	チアンフェニコール	2	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
22	スルファドキシム	1	0.06	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
23	トリメトプリム	1	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
24	メシリナム	1	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
25	チアンフェニコール	1	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
26	リンコマイシン	1	0.15	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
27	ジフルベンズロン	2	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
28	オルトジクロロベンゼン	5	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
29	プロチオホス	4	0.01	ガスクロマトグラフ法	検出せず
30	ヘンズルタッフ(カルタッフ,チオシクラム及びヘンズルタッフ)	1	0.01	ガスクロマトグラフ法	検出せず
31	DCIP	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
32	メトキシフェノジド	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
33	ペンシクロン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
34	エンドスルファン	1	0.004	ガスクロマトグラフ法	検出せず
35	シラフルオフエン	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
36	フィプロニル	1	0.02	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
37	ピロキロン	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
38	フェリムゾン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
39	フサライド	2	0.01	ガスクロマトグラフ法	検出せず
40	カルバリル	1	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
41	アセフェート	1	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
42	クロチアニジン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
43	メソミル(チオシカルブ及びメソミル)	1	0.02	ガスクロマトグラフ法	検出せず
44	IBP(イプロベンホス)	1	0.01	ガスクロマトグラフ法	検出せず
45	カスガマイシン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
46	E P N	1	0.01	ガスクロマトグラフ法	検出せず
47	エマメクチン安息香酸塩	1	0.0005	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
48	テフルベンズロン	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
49	プロベナゾール	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
50	メタアルデヒド	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
51	塩化ジデシルジメチルアンモニウム	1	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
52	フェンペンダゾール(オクスフェンダゾール、フェンペンテル及びフェンペンダゾール)	1	0.1		
	オクスフェンダゾール及びフェンペンダゾール			高速液体クロマトグラフ法	検出せず
	フェンペンテル			液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
53	キノメチオナート	1	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
計	53物質	77			

本検査については、指定生乳生産者団体毎に、使用実績のある物質を検査したため、指定団体毎に検査物質は異なる。

注)エマメクチン安息香酸塩については、現時点での乳を対象とした検査法では、検出限界値が基準値を上回っており、検出限界値で「検出せず」という結果であった。